



上/移住して初めてのニンニク収穫体験

左/五十嵐さんのリモートワークの様子

にんにく収穫体験

×

「リモートワーカー」

いがらしあさこ

五十嵐麻子さん

日増しに暑くなる6月下旬、町ではいよいよ、にんにくの収穫時期を迎えます。今年から田子町に移住してきた五十嵐さんは、町内で開催されたにんにく収穫体験に参加し、「初めてだったけど楽しかった」と話してくれました。

五十嵐さんは千葉県に生まれ、都内に就職し、移住する直前まで東京住まいでした。夫は先に田子町に移住し別居生活。その後コロナ禍で移動が制限され、「夫婦のあり方としてどうなのか」と悩んだ末、昨年移住を決めたそうです。初めて町に訪れたのは約4年前、モニターツアーを活用しての訪問でした。その後移住するまでに何度か町を訪れており、来るたびに良い印象を抱いたと話します。

「千葉の田舎で生まれ育ったので自然の豊かさはあまり珍しくなかったです

が、人がとにかく優しい。周りがいい人ばかりでとても助かっています。」

東京ではスポーツに関する事務職の仕事をしており、コロナ禍中に在宅勤務の時期もありましたが、移住前は通常の出勤でした。五十嵐さんが田子町でのリモートワークを検討していたところ、ちょうど会社でリモートワークの制度ができたのでそちらを活用しました。最低限必要な資料は持参し、パソコンには会社と共通のネットワーク回線を引き、その中にほとんどの資料が入っているので不便はせず、順調に仕事が出来ているようです。

「住居の敷地内に咲いている花を摘んで家に飾ったりして楽しんでます。虫は苦手で、野菜に時々ついてる虫と格闘しています(笑)。ブルーベリー収穫や、ホップ畑でのお茶会の予定もあり、いろいろ体験できて楽しいです。」と、町で生活している様子を朗らかに話してくれたのが印象的でした。

夏と人

コンシェルジュレポート

レポート (令和4年夏)

木村知子 神奈川県出身

田子町定住移住コンシェルジュ

(田子町地域おこし協力隊)